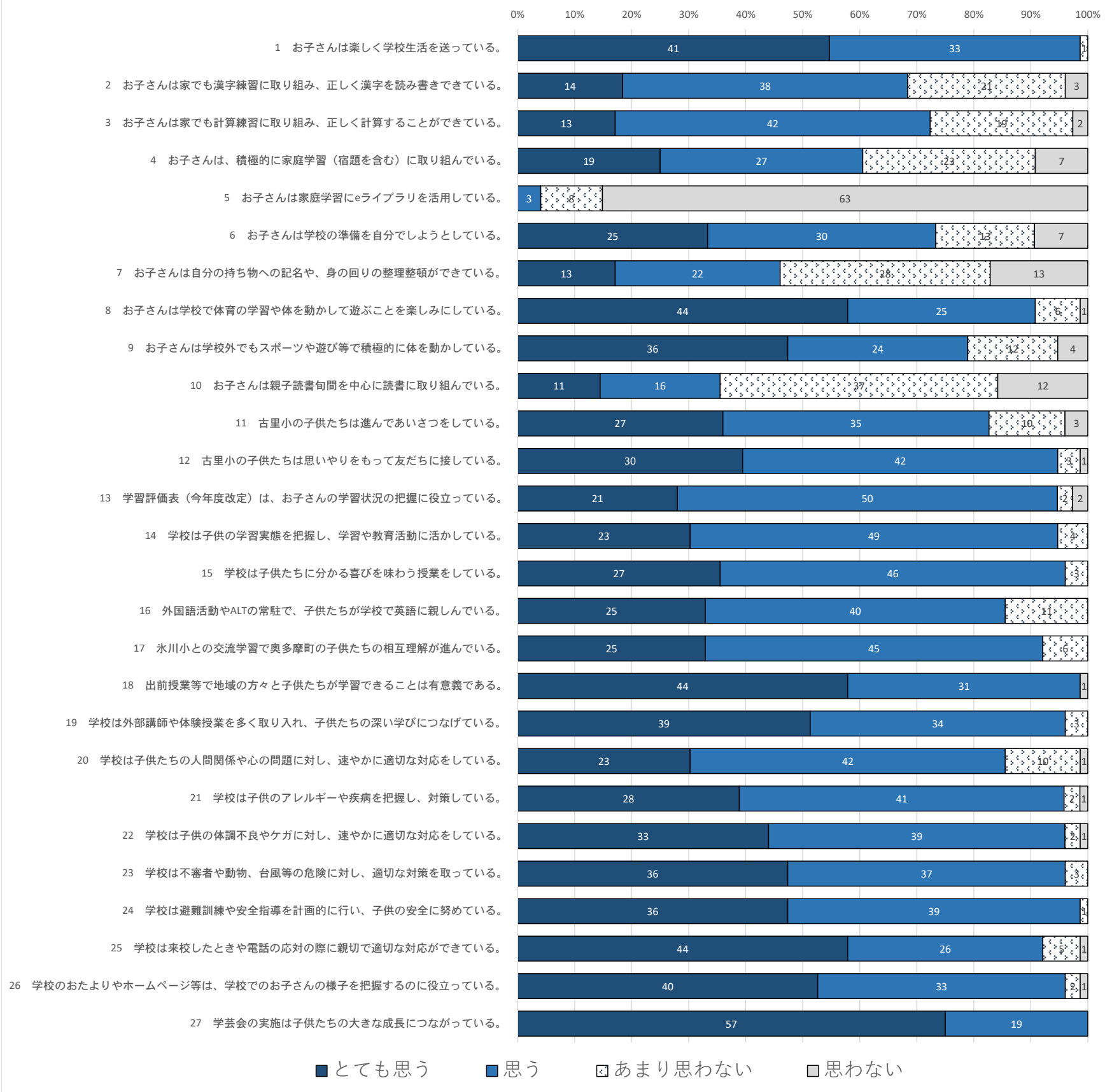


「学校教育に関するアンケート調査」まとめ

奥多摩町立古里小学校

遅くなりましたが12月に皆様にご協力いただきましたご家庭対象のアンケート結果をお届けします。皆様にはお忙しい中、お答えいただきありがとうございます。このアンケートの結果は、今後の学校の教育活動などの改善に役立ててまいります。

30年度保護者アンケート集計



学校生活全般	
<p>○ 先生方にも恵まれ、古里小学校に通えて本当に良かったと思います。今後もどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>○ 先生は個々の子供の特性の把握と家庭への細やかな連絡を十分にされていて、とても安心した学校生活を送らせていただいています。満足感と安心感があります。</p> <p>○ 先生が子供たちと会話しているところを見かけないので、消極的な方に見えます。</p>	<p>※暖かなご意見、ありがとうございます。古里小学校では全職員が「全ては子どものために」の気持ちで、様々な立場から全児童にかかわり協力し合って取り組むことで、一人一人をまっすぐ伸び伸びと育てたいと考えています。見ていただいた場面や教員の持ち味などの違いからご意見のように感じられることがあったようですが、子供たちを思う気持ちには違いはありません。今後も教員は互いの持ち味を生かしながら協力して指導にあたっておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

<p>○ 先生には、我が子の高学年の複雑で波のある状態に、きめ細やかに絶妙な対応をしていただいております。本当に感謝しています。この濃厚な小学生時代が将来の宝になれる方向に向かっているように思います。学校で味わった心の傷は幼かったため深く長引いています。つらかった時期は本当に「生きてくれ!」と願うばかりでした。いつになるか、曇りのない晴れ晴れとした笑顔の我が子が古里小学校と向き合える事を願っています。先生方の優しいお心遣い本当にありがとうございます。</p> <p>○ 今年度から低学年の我が子が支援級に入り本人に合ったご指導をしていただいている為、やる気も自信もどんどん上がっています。自己肯定感を高めることがとても大事だと痛感しています。どのタイミングで支援級に移ったらよいかと悩んでいましたので、学校からのご提案、相談、とても有難かったです。常日頃から子供の様子をよく見ていただいて子供の為に考えていただいている事、本当に感謝です。これからも宜しく願い致します。</p>	<p>※学校は、全ての子供が「わかる、学びたい、満足感を持てる」学習活動を目指して工夫をし、研鑽を進めています。同時に様々な様子に応じて、自分に合った学びができる場所づくりにも努めています。縦割り班、近隣小中学校との共同学習、専科教室や図書室の充実、ひまわり、たんぼぼと言った支援学級や支援教室、あおぞら、サポート教室や教育支援員など様々なスタイルの学びの場を用意して、個々の学びが互いにかかり合い、つながり合うように教職員の協力連携にも努めています。何よりも大切と考えているのはご家庭との連携です。どうぞこれからも力を合わせて進めてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
--	--

ご家庭との連携	
<p>○ こちらの質問にはきちんと答えと下さる姿勢に感謝しています。ただ親が大問題と感じることに何も連絡がなかったり、サラッと流されてしまったりした時は、認識の違いの詳しい説明が欲しいと思います。親が問題と思う程度と学校が認識している部分とのギャップがあると不信感が芽生えてしまいます。</p> <p>○ 電話の対応が淡白に感じる時があります。</p>	<p>※全ての教職員がお子さんの伸長のため、ご家庭を最も大切なパートナーと考え、皆様とご相談を大切にしています。しかしコミュニケーションの不足などからご意見のように感じられることがあったと推察します。申し訳ありませんでした。ご意見を受け改め、電話での対応なども含めたご家庭との連絡・相談を全職員が丁寧に進めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>

あいさつ	
<p>○ いつも子供が大変お世話になっております。以前よりの意見ですが、やはり「子供達があいさつをお互いにしていないなあ。」学校へ伺った際に「他の保護者を含め外部の方々に対してあいさつができていないなあ。」何より「元気がないなあ」と感じています。上の子供達の時のことを、「上級生が大きな声で元気よくあいさつをしてくれていたからか、全体的に元気だったなあ」と思えます。もちろん家庭での協力はあたりまえですが、学校へ伺って「おっ、元気な学校だなあ」と思ってもらえるようなそんな学校になってほしいです。</p>	<p>※ あいさつは人との絆を築く初めの一歩です。元気で気持ちの良い挨拶から一日が始まるように学校も願って取り組んでいます。今年度は挨拶週間を各月に設け、学年ごとに工夫した方法であいさつを呼びかけました。これからも活動を工夫しながら元気な挨拶ができるようにしていきたいと思っています。</p>

交流活動	
<p>○ 子供たちの間でいざこざがあった時に、少人数であることや田舎であることの悪い面も出てくるのかなと思う時があります。古里小では校長室検定に代表されるように自主性を重視しており、それがそれぞれの生きる力につながっていくのだと思っています。子どもたちが毎日顔を合わせるクラスの仲間だけでなく学年を超えて活動すること、氷川小、またそれよりもっと遠くの学校との交流はこれからももっともっと続けていってほしいと思います。</p>	<p>※ 古里小学校には子供たちが様々なことに進んで挑戦し自分を伸ばす機会がたくさん用意されています。このような機会を大切にして、今後も子供たちの自主性を良い形で育てたいと思います。また氷川小学校との共同学習や井之頭小学校などとの交流は内容を工夫しながら今後も進めていきます。</p>

子どものトラブル	
<p>○ 普段気にしているお子さんが、ケンカの際に相手の顔にも手を出していたので、お家ではどのように教育しているのかと不安に思いました。</p>	<p>※ ご家庭でしっかり教えていただいた正しさも、実際に大勢の友達との生活の中で実践するには工夫や知恵が必要です。集団生活の学校では互いに気持ちよく暮らしたり協力し合ったりする知恵も学びますが、学び途中では、けんかやいじわるなど不適切なかわりになってしまう時もあります。そのような事例も取り上げて、どのように行動したらよいか学んでいます。指導に生かしたく思いますので、もし目にされて気になることがありましたら、教えていただくと幸いです。</p>

学芸会	
<p>○ 初学芸会とても良かったです。(2)</p> <p>○ 学芸会は子供たちの大きな成長につながっていると大いに思います。普段見せていない子供の表現力も発見できた、とても素晴らしい機会でした!!是非とも毎年実施していただきたいと思いました。本当に心の底から楽しめたと感動させられました。親としても満足のある見応えある学芸会に学校の指導力の高さを実感し学校全体の雰囲気も評価も一気に上がりました。</p> <p>○ 今年の学芸会は最高に良かったです!!毎年、取り組んで頂きたいです!!1人1人が個性を發揮できてしかも皆がプラスに働いて表現し合っている素晴らしさに感動しました!!とても良かったです!!心から学芸会を応援したいです!宜しく願い致します。</p> <p>○ 学芸会のPKTの取り組み、とても素晴らしかったです。</p>	<p>※ 学芸会にご協力ありがとうございました。本校では久しぶりの学芸会でしたが劇団の方々のご支援もあり、どの学年も伸び伸びと演じることができたと思います。劇は幅広く効果のある教育活動ですが、子供たちには音楽や創作や音読など、様々な文化的行事を体験してもらい、豊かな感性を養ってほしいと思います。「毎年…」のご意見は大変ありがたく思いますが、活動や伸ばしたい力のバランスを図りながら進めてまいります。どうぞご理解をお願いいたします。</p>

学習評価表	
<p>○ 学習評価表はとても分かりにくくなりました。ABC評価の方が理解しやすく見やすかったので戻していただきたいです。(2)</p> <p>○ 個人面談が年に何回かありますが、15分では短いと感じます。児童数が少ないので30分くらいとれたらと思います。</p>	<p>※ 現在の学習評価は他と比較する相対評価でなく、教科のねらいができたか、わかったかを見取る絶対評価です。ABCには順番のニュアンスもあるので、現在の形の方が正しく伝わると考えました。できた・わかったものは真ん中に○が付き、努力を促す場合は右側に○のついた項目を、良さをさらに伸ばそうとする時は、左側に○のついた項目を見てください。学習状況をお伝えする方法は、今後も検討し改善を図っていきますが、趣旨をご理解いただきお子さんの励ましに活用していただければ幸いです。</p> <p>※ お子さんの教育の一番のパートナーである皆様とはできるだけ時間を取ってお話ししたいと思っています。ただ少人数とは言え他の教育活動等との関係から学校の中で一斉に設定できる時間には限りがあります。また必要な時間も皆様お一人お一人違うため、平均をとった時間設定になっています。それぞれのご要望に応じ柔軟な対応を心掛けたいと思いますので、もっと時間が必要な場合はご相談ください。また個人面談の設定にかかわらず、日頃より個別の相談には積極的に対応してまいりますのでどうぞ担任にお申し出ください。</p>

身近な方から学ぶ	
<p>○ 出前授業とは何ですか。</p> <p>○ 氷川小で奥多摩在住の美術家の方の工房見学という校外授業があると聞きました。是非、古里小の児童たちにも体験させたいです。こんな生き方している人もいるのか!と思うと思います。</p>	<p>※ 出前授業とは、学外の専門家の方が講師になったり、奥多摩中学の先生方がその時間の「先生」になって行う授業のことです。現在も奥多摩中学校とはできるだけいろいろな教科で小学校での授業を行うように計画しています。また、この奥多摩の地域には様々な生き方をされている専門家の方が多く在住していらっしゃいます。すでに本校では、文化団体連盟の方々をはじめ大勢の皆様にご協力いただき、学内や学区内をフィールドとした見学体験学習を行っています。また町外の研究機関や団体の人をお呼びしたりお尋ねしたりして触れ合う学習も行い、特色の一つとしています。ご意見のように、今後も様々な方にご協力をいただきながら人と触れ合う体験学習、見学、出前授業等を進めてまいります。</p>

貴重なご意見、ご感想をいただき、ありがとうございました。一つ一つのご意見を真摯に受け止め、一人一人の子どもが自信をもって生活し、自分の力をさらに伸ばすために「笑顔いっぱい、元気いっぱい、勇気いっぱいの古里小学校」になるよう、よりよい学校運営に努めて参りたいと考えています。今後ともご支援をよろしくお願い致します。